

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数					省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	総合教育科目	専門科目	合計		
	初等教育学科	夜・通信	—	—	4	64	68	7	
	初等教育学科 通信教育課程	夜・ <u>通信</u>	—	—	0	51	51	7	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

鎌倉女子大学ポータルサイト シラバス検索
<https://kwup.kamakura-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006>
 検索キーワード「実務経験」を入力し、「実務経験を活かした授業」の講義一覧を表示させる。

鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「6. 大学等の教育課程に関する情報」
 > (1) 授業科目、授業内容、授業計画 > 大学 実務経験を活かした授業
<https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「1. 基本情報」>(6)役員・評議員名簿 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic_info/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 相談役	2025.6.6 ～ 就任後4年以内に終了する会 計年度のうち最終のものに 関する定時評議員会の終結 の時まで	管理運営
非常勤	公益財団法人 理事長	2025.6.6 ～ 就任後4年以内に終了する会 計年度のうち最終のものに 関する定時評議員会の終結 の時まで	管理運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) - 授業計画については、各授業科目の「科目ナンバー」「授業時間以外に必要な学習時間の目安」「授業概要」「到達目標」「建学の精神に基づく深い教養と高い専門性に富む学士力の形成への貢献」「内容(授業の各回の授業内容)・方法(講義・実験・演習等)」「準備学習・発展学習」「成績評価(評価方法・割合)」「教科書」「参考書」を記載した『シラバス』を作成している。 - 実務経験のある教員による授業科目については、『シラバス』の「実務経験を活かした授業」の欄に、実務経験のある教員がどのような授業を行うかを記載している。 - シラバスに記載する必要がある項目、記載方法、留意事項等について『シラバス作成の手引』に示している。 『シラバス』の作成過程については、12月に『シラバス作成の手引』を教員に配付し、作成依頼を行う。2月末までに各教員は担当授業科目のシラバスを作成する。各教員が作成したシラバスを学科長・教務担当教員が確認し、3月末に大学のホームページに公表する。	
授業計画書の公表方法	鎌倉女子大学ポータルサイト シラバス検索 https://kwup.kamakura-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) - 学修成果の評価については、学則第33条に成績評価、第34条に成績評価要件、第35条に単位の授与、第36条に試験について規定し、学生に示している。通信教育課程においては、通信教育規程第32条に試験、第33条に成績評価、第34条に単位の授与について規定し、学生に示している。 - 各授業科目の評価方法については、『シラバス』に記載している。 『シラバス』には、試験、課題提出、実技、成果物提出、発表、実践、グループワーク、受講状況等の評価方法をあらかじめ示している。 『シラバス』に示した評価方法の複数の要素を用いて、各学生の学修成果を総合的に評価し、単位を与えている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・成績評価には、GPA制度を取り入れ、客観的な指標を設定している。
- ・GPAの算出方法は、以下の通りである。

合否	評価	評点	評価の基準	Grade Point
合格	S	100～90点	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績	4
	A	89～80点	到達目標を十分に達成できている優れた成績	3
	B	79～70点	到達目標を達成できている成績	2
	C	69～60点	到達目標を最低限達成できている成績	1
	合	合格	段階なし	GPAに算入しない
	認	合格	段階なし	GPAに算入しない
不合格	F	59点以下	到達目標を達成できていない成績	0
	E	成績評価なし	評価なし	0
	否	不合格	評価なし	GPAに算入しない

GPAの算出式（小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを算出する）

GPA = $\frac{(\text{履修登録した授業科目のGrade Point} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$

- ・成績評価とGPAについては、履修規程第11条（通信教育課程においては、通信教育規程第33条）に成績評価について規定するとともに、大学ホームページ「情報公開」ページに掲載している。
- ・成績の分布状況については、各学期の成績確定後に、教務部学務課でデータをまとめ、資料（成績一覧表、各学年のGPA一覧表（GPA順・学籍番号順））を作成している。学科長・教務担当教員・クラスアドバイザーは、作成された資料を確認することで、成績の分布状況を把握し、学修指導に活かしている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「6. 大学等の教育課程に関する情報」 > (2) 学修成果の評価、卒業・修了認定の基準 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・卒業の認定方針については、短期大学部、学科のディプロマポリシーを策定し、大学ホームページに公表している。通信教育課程においては、通信教育課程ホームページに公表している。
- ・ディプロマポリシーについては、カリキュラムポリシーとともに、オリエンテーションの際、学生に理解を促し、学生はディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを意識した履修・学修を行っている。
- ・卒業判定の手順については、卒業学年の成績確定後、まず学科長・通信教育課程主任・教務担当教員・クラスアドバイザーによって卒業要件充足状況を確認し、学科会議において、卒業要件充足者が短期大学士課程修了及び卒業並びに学位授与を認定できるか審議する。続いて教務委員会、学部長会議、教授会の順で審議し、最終的には教授会の議を経て学長が決定している。
- ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容は次のとおり。

◎短期大学部のディプロマポリシー

- ・鎌倉女子大学短期大学部は、「教育の理念（感謝と奉仕に生きる人づくり）」「教育の目標（科学的教養の向上と優雅な性情の涵養）」「教育の姿勢（人・物・時を大切に）」「教育の方法（ぞうきんと辞書をもって学ぶ）」「教育の体系（知育・徳育・体育の調和）」によって構成される「建学の精神」に基づき、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 本学固有の教育理念であると同時に、古今にわたる普遍の教育理念である「感謝と奉仕に生きる」を常に目途としながら、本学固有の教育目標である「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、自らの職能・職域を通じて健全な生活世界の活動及び形成に参加し、自らの未来を力強く切り拓くため、所定の期間在学し、所定の単位を修得していること。
2. 「建学の精神」を含む『総合教育科目』及び学科の設置目的に照らして編成された『専門教育科目』を併せて修得していること。

◎初等教育学科のディプロマポリシー

初等教育学科は、「建学の精神」及び本学科の教育目的に基づき、所定の期間在学し、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を身につけ、所定の単位数を修得した学修者に、「短期大学士（教育学）」の学位を授与する。

1. 知識・理解

- ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
- ・教育・保育に関する専門的知識を体系的に理解している。

2. 汎用的技能

①コミュニケーション・スキル

- ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

②数量的スキル

- ・教育・保育に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。

③情報リテラシー

- ・情報通信技術（ICT）を用いて、教育・保育に関する情報を収集・分析し、活用することができる。

④外国語運用能力

- ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。

⑤論理的思考力

- ・多角的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。

⑥課題-解決力

- ・現代社会における教育・保育に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

3. 態度・志向性

①自己管理能力

- ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。

②チームワークとリーダーシップ

- ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

③道理の感覚

- ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、教育・保育の専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。

④社会的責任

- ・教育・保育の総合的な専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。

⑤審美的なものに自己を差し向けること

- ・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。

⑥生涯学習力

- ・教育・保育の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。

⑦健康推進

- ・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- ・乳幼児期及び児童期について深い関心を持ち、よりよい教育・保育を探究しようとする態度を身につけている。
- ・教育・保育について総合的な視点に立って、教育・保育活動を実践できる能力を身につけている。
- ・保育士、幼稚園・小学校の教員等として活躍できる資質・能力を身につけている。

◎初等教育学科 通信教育課程のディプロマポリシー

初等教育学科 通信教育課程は、「建学の精神」及び本学科の教育目的に基づき、所定の期間在学し、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を身につけ、所定の単位数を修得した学修者に、「短期大学士（教育学）」の学位を授与する。

1. 知識・理解

- ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
- ・教育・保育に関する専門的知識を体系的に理解している。

2. 汎用的技能

①コミュニケーション・スキル

- ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

②数量的スキル

- ・教育・保育に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。

③情報リテラシー

- ・情報通信技術（ICT）を用いて、教育・保育に関する情報を収集・分析し、活用することができる。

④外国語運用能力

- ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。

⑤論理的思考力

- ・多角的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。

⑥課題-解決力

- ・現代社会における教育・保育に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

3. 態度・志向性

①自己管理能力

- ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した人間としてライフキャリアを描くことができる。

②チームワークとリーダーシップ

- ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

③道理の感覚

- ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、教育・保育の専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。

④社会的責任

- ・教育・保育の総合的な専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。

⑤審美的なものに自己を差し向けること

- ・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。

⑥生涯学習力

- ・教育・保育の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。

⑦健康推進

- ・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- ・幼児期及び児童期について深い関心を持ち、よりよい教育・保育を探究しようとする態度を身につけている。
- ・教育・保育について総合的な視点に立って、教育・保育活動を実践できる能力を身につけている。
- ・幼稚園・小学校の教員等として活躍できる資質・能力を身につけている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「3. 大学等の教育研究上の基本情報」 > (4) 3つのポリシー > 短期大学部 3つのポリシー > 短期大学部 ディプロマポリシー https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html < 通信教育課程 > 鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程 (e-learning course) ホームページ 教育目的・3つのポリシー > 初等教育学科 通信教育課程のディプロマポリシー https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/purpose/
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名	学校法人鎌倉女子大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「2. 経営・財務に関する情報」 > (5) 貸借対照表 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
収支計算書又は損益計算書	鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「2. 経営・財務に関する情報」 > (6) 収支計算書 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
財産目録	鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「2. 経営・財務に関する情報」 > (4) 財産目録 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
事業報告書	鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「2. 経営・財務に関する情報」 > (3) 事業報告書 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html
監事による監査報告（書）	鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「2. 経営・財務に関する情報」 > (7) 監事の監査報告書 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：事業計画書	対象年度：2026 年度 ）
公表方法： 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「2. 経営・財務に関する情報」> (2) 事業計画書 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html	
中長期計画（名称：中期計画	対象年度：2023 年度～2027 年度）
公表方法： 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「2. 経営・財務に関する情報」> (1) 中期計画 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/financial/index.html	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法： 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「9. 大学等の内部質保証に関する情報」 > (2) 自己点検・評価に関する報告書 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法： 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「9. 大学等の内部質保証に関する情報」 > (3) 認証評価の結果についての報告書 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/evaluation/index.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	初等教育学科
教育研究上の目的 (公表方法) 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「3. 大学等の教育研究上の基本情報」 > (2) 教育研究上の目的 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html < 通信教育課程 > 鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程 (e-learning course) ホームページ > 教育目的・3つのポリシー > 教育目的 https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/purpose/ (概要) ◎初等教育学科の教育目的 初等教育学科は、乳幼児及び児童が生きる生活世界の基礎的理解と、教育・保育の活動等に資する理論及びその応用・実践についての教育研究を通じて、健全で幸福な社会の発展に寄与できる知見と方法、豊かな人間性と高い倫理性をもった人材を養成することを目的とする。 ◎初等教育学科 通信教育課程の教育目的 初等教育学科 通信教育課程は、主として通信の方法によって、幼児及び児童が生きる生活世界の基礎的理解と、教育・保育の活動等に資する理論及びその応用・実践についての教育研究を通じて、健全で幸福な社会の発展に寄与できる知見と方法、豊かな人間性と高い倫理性をもった人材を養成することを目的とする。	
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法) 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「3. 大学等の教育研究上の基本情報」 > (4) 3つのポリシー > 短期大学部 3つのポリシー > 短期大学部 ディプロマポリシー https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html < 通信教育課程 > 鎌倉女子大学短期大学部通信教育課程 (e-learning course) ホームページ 教育目的・3つのポリシー > 初等教育学科 通信教育課程のディプロマポリシー https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/purpose/ (概要) ◎初等教育学科のディプロマポリシー 初等教育学科は、「建学の精神」及び本学科の教育目的に基づき、所定の期間在学し、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を身につけ、所定の単位数を修得した学修者に、「短期大学士(教育学)」の学位を授与する。 1. 知識・理解 ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。 ・教育・保育に関する専門的知識を体系的に理解している。 2. 汎用的技能 ①コミュニケーション・スキル ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。 ②数量的スキル ・教育・保育に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。 ③情報リテラシー ・情報通信技術 (ICT) を用いて、教育・保育に関する情報を収集・分析し、活用することができる。 ④外国語運用能力 ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。 ⑤論理的思考力 ・多角的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。	

⑥課題-解決力

- ・現代社会における教育・保育に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

3. 態度・志向性

①自己管理能力

- ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。

②チームワークとリーダーシップ

- ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

③道理の感覚

- ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、教育・保育の専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。

④社会的責任

- ・教育・保育の総合的な専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。

⑤審美的なものに自己を差し向けること

- ・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。

⑥生涯学習力

- ・教育・保育の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。

⑦健康推進

- ・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- ・乳幼児期及び児童期について深い関心を持ち、よりよい教育・保育を探究しようとする態度を身につけている。
- ・教育・保育について総合的な視点に立って、教育・保育活動を実践できる能力を身につけている。
- ・保育士、幼稚園・小学校の教員等として活躍できる資質・能力を身につけている。

◎初等教育学科 通信教育課程のディプロマポリシー

初等教育学科 通信教育課程は、「建学の精神」及び本学科の教育目的に基づき、所定の期間在学し、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を身につけ、所定の単位数を修得した学修者に、「短期大学士（教育学）」の学位を授与する。

1. 知識・理解

- ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
- ・教育・保育に関する専門的知識を体系的に理解している。

2. 汎用的技能

①コミュニケーション・スキル

- ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

②数量的スキル

- ・教育・保育に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。

③情報リテラシー

- ・情報通信技術（ICT）を用いて、教育・保育に関する情報を収集・分析し、活用することができる。

④外国語運用能力

- ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。

⑤論理的思考力

- ・多角的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。

⑥課題-解決力

- ・現代社会における教育・保育に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

3. 態度・志向性

①自己管理能力

- ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した人間としてライフキャリアを描くことができる。

②チームワークとリーダーシップ

- ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

③道理の感覚

- ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、教育・保育の専門家として求められる高い倫理観を備

え、自らを律して行動することができる。

④社会的責任

・教育・保育の総合的な専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。

⑤審美的なものに自己を差し向けること

・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。

⑥生涯学習力

・教育・保育の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。

⑦健康推進

・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

・幼児期及び児童期について深い関心をもち、よりよい教育・保育を探究しようとする態度を身につけている。

・教育・保育について総合的な視点に立って、教育・保育活動を実践できる能力を身につけている。

・幼稚園・小学校の教員等として活躍できる資質・能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法)

鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「3. 大学等の教育研究上の基本情報」

> (4) 3つのポリシー > 短期大学部 3つのポリシー > 短期大学部 カリキュラムポリシー

<https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

< 通信教育課程 >

鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程 (e-learning course) ホームページ

教育目的・3つのポリシー > 初等教育学科 通信教育課程のカリキュラムポリシー

<https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/purpose/>

(概要)

◎初等教育学科のカリキュラムポリシー

初等教育学科は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 『総合教育科目』においては、8分野で構成し、幅広い知識と豊かな教養を養う。
2. 『専門教育科目』においては、初等教育、保育・児童福祉の本質及び目的の理解を深める科目とともに、実践力を育成する科目を設け、子どもの理解と指導の専門性を高める。
3. 講義に加え、演習、実習等の授業方法を組み合わせるとともに、各授業科目の学修内容を有機的に関連させることにより、教育・保育の活動等に資する実践力を養う。
4. 初年次教育として、必修科目「初等教育学基礎演習」を置き、短期大学部での学修を円滑に進めるため、アカデミックスキルを育成する。
5. 1年次に、必修科目「教育原理」「発達心理学」を置き、初等教育学科での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。
6. 2年次に、教育・保育に関する実践的な科目を置き、専門的知識・技能を養う。
7. 2年次に、必修科目「初等教育学総合研究」を置き、学修・研究することで、専門性を深める。
8. 2年次に、学外での実習等の体験的な活動を行うことにより、さらなる専門的知識・技能の統合を図り、実践力を養う。
9. 『免許・資格プログラム』においては、小学校教諭2種免許状、幼稚園教諭2種免許状、保育士、准学校心理士、児童厚生2級指導員、レクリエーション・インストラクター、秘書士等の免許・資格を取得する上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。
10. 『企業学習プログラム』においては、初等教育学と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目及び秘書士に関する科目を置き、専門的知識・技能を活用して企業等で活躍できる資質・能力を養う。

◎初等教育学科 通信教育課程のカリキュラムポリシー

初等教育学科 通信教育課程は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 『総合教育科目』においては、8分野で構成し、幅広い知識と豊かな教養を養う。
2. 『専門教育科目』においては、初等教育、保育・児童福祉の本質及び目的の理解を深める科目とともに、実践力を育成する科目を設け、子どもの理解と指導の専門性を高める。

3. 講義に加え、演習、実習等の授業方法を組み合わせるとともに、各授業科目の学修内容を有機的に関連させることにより、教育・保育の活動等に資する実践力を養う。
4. 1年次に、必修科目「教育原理」「発達心理学」を置き、初等教育学科 通信教育課程での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。
5. 2年次に、教育・保育に関する実践的な科目を置き、専門的知識・技能を養う。
6. 2年次に、学外での実習等の体験的な活動を行うことにより、さらなる専門的知識・技能の統合を図り、実践力を養う。
7. 『免許・資格プログラム』においては、小学校教諭2種免許状、幼稚園教諭2種免許状、准学校心理士、児童厚生2級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンパインストラクター、秘書士等の免許・資格を取得する上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。
8. 『企業学習プログラム』においては、初等教育学と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目及び秘書士に関する科目を置き、専門的知識・技能を活用して企業等で活躍できる資質・能力を養う。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法)

鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「3. 大学等の教育研究上の基本情報」

> (4)3つのポリシー>短期大学部 3つのポリシー>短期大学部 アドミッションポリシー

<https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html>

<通信教育課程>

鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程 (e-learning course) ホームページ

教育目的・3つのポリシー>初等教育学科 通信教育課程のアドミッションポリシー

<https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/purpose/>

(概要)

◎初等教育学科のアドミッションポリシー

初等教育学科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

1. 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
2. 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。また、「保健体育」及び「芸術」を通して、教育・保育・表現文化等について学ぶための、基礎的な知識・技能を有する人。
3. ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。また、体育・芸術等の分野において心身ともに豊かに表現できる力を有する人。
4. 乳幼児期及び児童期に関心があり、教育・保育に関する諸問題を探究できる人。
5. 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
6. 人とかかわることが好きで、保育士、幼稚園・小学校の教員として、または教育・保育関連企業等において活躍しようとする明確な目的意識があり、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げ、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

◎初等教育学科 通信教育課程のアドミッションポリシー

初等教育学科 通信教育課程は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

1. 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
2. ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
3. 幼児期及び児童期に関心があり、教育・保育に関する諸問題を探究できる人。
4. 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
5. 人とかかわることが好きで、幼稚園・小学校の教員として、または教育・保育関連企業等において活躍しようとする明確な目的意識があり、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げ、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

鎌倉女子大学ホームページ 大学院・学部・学科

<https://www.kamakura-u.ac.jp/faculty/index.html>

鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「1. 基本情報」>(5) 法人組織

https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/basic_info/index.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	0 人	－					0 人
初等教育学科	－	7 人	10 人	3 人	0 人	0 人	20 人
初等教育学科 通信教育課程	－	0 人	2 人	0 人	0 人	0 人	2 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
		2 人	63人 （通信教育課程を兼務する通学課程の本務者 19 人、通学課程を兼務する通信教育課程の本務者 2 人を含む）				65 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「5. 大学等の教員に関する情報」 > (3)教員の学位・業績 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/teacher/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
・教育方法・内容の改善を進めるための全学的な組織として、「FD委員会」を設置している。 ・「FD委員会」が中心となり、「授業改善アンケート」「ピアレビュー（授業情報交換会）」「授業コンサルティング」「FDセミナー」「新任教員研修」等の実施、「ニュースレター」の発刊を行い、教員の資質・能力の向上に努めている。 <通学課程> ・授業改善アンケートについては、専任教員及び春・秋両セメスターの授業科目を担当している非常勤講師を対象としており、対象者は春セメスターまたは秋セメスターの担当科目から1科目(1コマ)以上を選択し、授業の中盤（6～7週目）及び終盤（12～14週目）に計2回アンケートを実施している。 ・1回目のアンケート結果は各教員に即時にフィードバックされ、教員は学生の意見をもとにセメスター後半における授業方法の見直しを行っている。 ・2回目のアンケート結果も各教員にフィードバックされ、教員は1回目のアンケート結果と比較して自身の授業改善が有効であったか検証するとともに、次年度に向けた更なる授業改善を検討して「アンケート分析と評価」に記入し、「FD委員会」に提出している。 ・授業改善アンケートの集計結果については、ホームページにおいて3か年度分を公開している。 <通信教育課程> ・授業改善アンケートについては、専任教員及び非常勤講師を対象としており、教育実習、教育実習指導を除く2026年度に開講している全科目で実施している。 ・最終の単位認定試験日から1週間以内を目安に実施する。 ・アンケート結果は各教員にフィードバックされ、次年度以降の授業内容・方法の改善の参考とし、学生の学びの質を向上させることを目的としている。 ・アンケート結果をFD委員会に提出している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに
進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
初等教育学科	100 人	60 人	60.0%	200 人	126 人	63.0%	—	—
合計	100 人	60 人	60.0%	200 人	126 人	63.0%	—	—
初等教育学科 通信教育課程	300 人	155 人	51.7%	600 人	288 人	48.0%	—	—
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数					
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
初等教育学科	106人 (100%)	16人 (15.1%)	89人 (84.0%)	1人 (0.9%)	
合計	106人 (100%)	16人 (15.1%)	89人 (84.0%)	1人 (0.9%)	
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)					
進学先	鎌倉女子大学児童学部児童学科／鎌倉女子大学児童学部子ども心理学科／鎌倉女子大学教育学部教育学科／鎌倉女子大学短期大学部専攻科／こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科				
学校	[公立] 〔小学校教諭〕横浜市教育委員会				
幼稚園・ 認定こども園	[私立] 学校法人みなみ学園春日野幼稚園／学校法人相武学園鈴鹿幼稚園／学校法人津久井浜学園津久井幼稚園／学校法人木村学園ケンコウ幼稚園／学校法人和敬学苑むらおか幼稚園／学校法人内藤学園認定こども園上飯田幼稚園／社会福祉法人誠心会しらかばこども園／社会福祉法人和順会和順こども園				
保育所 社会福祉施設等	[公立]川崎市／藤沢市／小田原市／南足柄市 [私立]社会福祉法人春和会わんぱく乳児院／社会福祉法人ちとせ会ちとせ保育園／社会福祉法人ふたば会双葉保育園／社会福祉法人湘南杉の子福祉会五反田保育園／社会福祉法人翠福祉会みどり保育所／株式会社日本保育サービス				
企業	株式会社ベベ／平塚信用金庫				
公務員	防衛省海上自衛隊				
c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
初等教育学科	107人 (100%)	104人 (97.1%)	0人 (0.0%)	3人 (2.8%)	0人 (0.0%)
合計	107人 (100%)	104人 (97.1%)	0人 (0.0%)	3人 (2.8%)	0人 (0.0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「6. 大学等の教育課程に関する情報」 > (1) 授業科目、授業内容、授業計画 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html ・「授業科目、授業内容、授業計画」の項目に掲載されている内容は次のとおり。 1) 各授業科目の科目ナンバー、カリキュラムチャート 2) 各学科のカリキュラム 3) シラバス 4) 実務経験を活かした授業
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「6. 大学等の教育課程に関する情報」

> (2) 学修成果の評価、卒業・修了認定の基準

<https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html>

・「学修成果の評価、卒業・修了認定の基準」に掲載されている内容は次のとおり。

1) 成績評価基準、GPA制度、GPAの算出式

2) 卒業要件単位、取得可能学位

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	初等教育学科	62 単位	有・無	—
	初等教育学科 通信教育課程	62 単位	有・無	—

G P Aの活用状況
(任意記載事項)

公表方法：
鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「6. 大学等の教育課程に関する情報」
> (2) 学修成果の評価、卒業・修了認定の基準> 成績評価基準、GPA 制度
<https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/curriculum/index.html>

学生の学修状況に係る参考情報
(任意記載事項)

公表方法：
鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「10. 大学等のIRに関する情報」
(1) 学修時間 (2) 学生の学修に対する意欲 (3) 学生の成長実感
(4) 学生の満足度 (5) 単位取得状況 (6) 学位取得状況
(7) 修業年限期間内に卒業する学生の状況
(8) 免許・資格取得状況、国家試験合格状況
<https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/ir/index.html>

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 鎌倉女子大学ホームページ 情報公開「3. 大学等の教育研究上の基本情報」 > (6) キャンパスの概要、耐震化 https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/education/index.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

2025・2026年度入学者					
学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	初等教育学科 (1年次)	640,000円	380,000円	511,000円	【その他内訳】 教育環境充実費 : 196,000円 実験実習費: 180,000円 文化厚生費: 15,000円 休学中の在籍料(年間) : 120,000円
	初等教育学科 (2年次)	685,000円	—	545,000円	【その他内訳】 教育環境充実費 : 210,000円 実験実習費: 200,000円 文化厚生費: 15,000円 休学中の在籍料(年間) : 120,000円

<通信教育課程>2025・2026年度入学者					
学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	初等教育学科 通信教育課程 (1年次)	230,000円	30,000円	55,000円	【その他内訳】 教育環境充実費 : 35,000円 休学中の在籍料(年間) : 20,000円
	初等教育学科 通信教育課程 (2年次)	230,000円	—	55,000円	【その他内訳】 教育環境充実費 : 35,000円 休学中の在籍料(年間) : 20,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ◆オフィスアワー制度<通学課程> ・講義や自主学習の中で感じた疑問点を、教員に直接質問できる制度を設けている。 ・各教員が週に2時限のオフィスアワーを設定し、学生の質問や相談に対応している。 ・全教員が学生の学修意欲を支えている。 ◆e-Learning Centerによる学修サポート<通信教育課程> ・通信教育課程においてはe-Learning Centerが学生からの相談窓口となり、e-learning システム(LMS)の使い方や学修を進めていく上での問い合わせ等に随時メールにて対応している。 ◆クラスアドバイザー ・全学年にクラスアドバイザーが配置され、授業の選び方や学習の方法、学生生活での悩みなど、学生が抱えるさまざまな問題に対応している。 <通信教育課程> ・通信教育課程においては、Web 会議システムを活用したオンライン上の交流の場である「クラスピアツア」を実施。学生とクラスアドバイザーとの信頼関係を育み、学生同士の交流を図る機会を提供することで、学修意欲が高まるよう支援を行っている。

◆教務部教務課・学務課・免許・資格指導課 ・教務部教務課では授業、試験、教科書に関すること等、学務課では履修登録、各種証明書の発行等、免許・資格指導課では各種実習に関すること等を通じて、修学支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) ◆就職センター ・就職センターでは、1年次からキャリア教育を行い、早期から就業意識を持つように指導している。 ・就職講座や模擬試験を開催するほか、就職相談、履歴書やエントリーシートの添削、面接対策（模擬面接など）にも個別に対応している。 ・就職カウンセラーと就職センターのスタッフ全員で学生をフォローし、適切なアドバイスやサポートができるような体制を整えている。 <通信教育課程> ・通信教育課程の学生に対しては、オンデマンド形式でのガイダンスやコンテンツ提供を行う。 ◆教職センター ・教職センターでは、教員・保育士をめざす学生を対象に、専門職に特化したサポートを行っている。 ・年間を通して、「教員・公立幼保採用試験対策講座」や「公立学校教員採用候補者選考試験説明会」などの講座を開講している。 ・入学から卒業後まで、学生一人ひとりの希望や課題を把握し、より質の高い教員・保育士養成を行えるよう、学科教員や他部署との連携を取りながら、きめ細かなサポートを行っている。 <通信教育課程> ・通信教育課程の学生に対しては、オンデマンド形式でのガイダンスやコンテンツ提供を行う。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) ◆学生相談室 ・学生相談室では、臨床心理士、公認心理師の資格をもつ相談員によるカウンセリングを行っている。 ・将来に向けてさまざまな経験を積み、多感な時期を過ごす学生生活の中で、いろいろな不安や悩みを抱える多くの人に対して、学問、進路、家族、友人関係など、どんな相談にも対応している。 <通信教育課程の学生は、利用対象外> ◆保健センター ・保健センターでは、けがや病気に対する応急処置や、学生の健康の保持増進を図ることを目的とし、健康の自己管理とともに主体的に取り組める健康づくりへの支援を行っている。 ・充実した学生生活を送るためには、心身ともに健康であることが大切であり、健康上の悩みについて相談できる体制となっている。また、病院の紹介も行っている。 <通信教育課程の学生は、スクーリング時に利用可能>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

鎌倉女子大学ホームページ 情報公開

<https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/disclosure/index.html>

○総合知を育成するための学生の学びの充実に向けた取り組み
「データサイエンス・AI学修プログラム」

「データサイエンス・AI 学修プログラム」として、データサイエンスと AI に対する関心を高め、これらを活用した課題解決能力を修得するための履修モデルの提供を行っている。プログラムの課程履修登録を行い、各レベルの修了要件を満たした場合は「修了証」を発行する。（通信教育課程は対象外）
公表方法：鎌倉女子大学ホームページ「キャンパスライフ」>「データサイエンス・AI 学修プログラム」 https://www.kamakura-u.ac.jp/campus_life/dsai/index.html

「データサイエンス・AI学修プログラム」リテラシーレベル				
データサイエンスとAIへの関心を高め、適切に理解し活用する <u>基礎的な能力</u> を修得するための履修モデル。				
学修内容	- データ・AI による社会と日常生活の変化を理解し、データ・AI を活用するための技術・それによって生まれる価値・最新動向などの知識を修得する。 - データを適切に読み解き、集計と解析を行い、分かりやすく正確に表現するためのスキルを修得する。 - データ・AIを利用する際のモラル・倫理・リスク・脅威に対する理解を深め、データを守るために留意すべき知識を修得する。			
授 業 科 目 と 修了要件	下記の2科目を履修し、合計4単位を取得することで、リテラシーレベルの修了を認定する。			
	授業科目	区分	配当年次	単位数
	情報リテラシー	総合教育科目-情報科学	1	2
	数と統計	総合教育科目-生活と技術	2	2

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F214310104971
学校名 (〇〇大学 等)	鎌倉女子大学短期大学部
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人鎌倉女子大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		48人（34）人	47人（32）人	52人（35）人
内 訳	第Ⅰ区分	17人	11人	
	（うち多子世帯）	（一人）	（一人）	
	第Ⅱ区分	一人	10人	
	（うち多子世帯）	（一人）	（一人）	
	第Ⅲ区分	一人	0人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	一人	一人	
	区分外（多子世帯）	20人	18人	
家計急変による 支援対象者（年間）				一人（0）人
合計（年間）				54人（35）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	一人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	一人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	一人
計	人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	0人	11人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	一人	一人
計	人	一人	11人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。